掲示板

研究会・研修会等への報告者・講師の派遣
（平成二十年七月～九月）

○「平成20年度集団研修・地域開発計画管理（A）」
主　催　JICA北海道国際センター
と　き　平成20年7月2日
テーマ　農協の仕組みと制度
講　義　黒河　功
（当研究所・特別参与）

○「JAカレッジ営農企画部門研修」
主　催（財）北海道農業協同組合学校
と　き　平成20年7月15日
テーマ　地域農業マネジメントの進め方
講　義　黒澤不二男
（当研究所・常務理事）

○「平成20年度地球システム倫理学会大会」
主　催　地球システム倫理学会（東京）
と　き　平成20年7月19日
テーマ　スローフード運動の生命倫理的意義
講　義　太田原高昭
（当研究所・所長）

○「平成20年度北海道農連道南ブロック学習会」
主　催　北海道農連
と　き　平成20年7月22日
テーマ　今こそ、問い返そうグローバル化のもたらすもの
講　演　黒澤不二男
（当研究所・常務理事）

○「平成20年度北海道農連網走ブロック学習会」
主　催　北海道農連
と　き　平成20年7月24日
テーマ　今こそ、問い返そうグローバル化のもたらすもの
講　義　太田原高昭
（当研究所・所長）

○「平成20年度北海道・東北ブロック普及職員協議会役員研修会」
主　催　北海道・東北ブロック普及職員協議会
と　き　平成20年7月24日
テーマ　地域農業振興に果たす普及センターの役割
講　演　黒澤不二男
（当研究所・常務理事）

○「（財）北海道農業開発公社第1回担当者会議」
主　催（財）北海道農業開発公社
と　き　平成20年7月29日
テーマ　合理化事業の現状と今後の役割について
講　演　井上　誠司
（当研究所・主任研究員）

○「（社）北海道地域農業研究所委託の調査・研究にかかる報告会」
主　催　全国共済農業協同組合連合会北海道本部
と　き　平成20年8月1日
テーマ　都市型農協における組合員次世代への共済推進の状況とその対策
講　演　糸山　健介
（当研究所・専任研究員）

○「北海道農業研究会２００８年度第1回定例研究会」
主　催　北海道農業研究会
と　き　平成20年8月3日
テーマ　地域支援システムの設置状況とその形成に関わる課題
講　義　井上　誠司
（当研究所・主任研究員）

○「北海道農業研究会２００８年度第1回定例研究会」
主　催　北海道農業研究会
と　き　平成20年8月3日
テーマ　地域における担い手（新規就農者）育成シス

テムの動向
講　義　中山　忠彦
（当研究所・研究部次長）

○「生活協同組合コープさっぽろ理事研修会」
主　催　生活協同組合コープさっぽろ
と　き　平成20年8月9日
テーマ　世界と日本の食料・農業問題
講　義　太田原高昭
（当研究所・所長）

○「JICA札幌中南米農村開発コース」
主　催　JICA北海道国際センター（札幌）
と　き　平成20年8月12日
テーマ　北海道における農業振興の方向
講　義　黒澤不二男
（当研究所・常務理事）

○「平成20年度北海道農連道北ブロック学習会」
主　催　北海道農連
と　き　平成20年8月19日
テーマ　今こそ、問い返そうグローバル化のもたらすもの
講　演　黒澤不二男
（当研究所・常務理事）

○「平成20年度北海道農連道央地域ブロック学習会」
主　催　北海道農民連盟
と　き　平成20年8月20日
テーマ　今こそ、問い返そうグローバル化のもたらすもの
講　演　黒河　功
（当研究所・特別参与）

○「平成20年度北海道農連十勝ブロック学習会」
主　催　北海道農連
と　き　平成20年8月22日
テーマ　今こそ、問い返そうグローバル化のもたらすもの
講　義　太田原高昭
（当研究所・所長）

○「日・中・韓・東アジア農業シンポジウム長沼フォーラム」
主　催　北海道農業研究会
と　き　平成20年8月22日
テーマ　グリーンツーリズムと農村地域振興
コーディネーター　黒澤不二男
（当研究所・常務理事）

○「平成20年度政策科学研修」
主　催　北海道
と　き　平成20年9月1日
テーマ　北海道の食料政策と今後のあり方・役割について
講　演　黒河　功
（当研究所・特別参与）

○「コープさっぽろ理事研修会」
主　催　コープさっぽろ
と　き　平成20年9月13日
テーマ　北海道農業の歴史と現状
講　義　太田原高昭
（当研究所・所長）

○「JICA帯広中・東欧市場経済コース」
主　催　JICA北海道国際センター（帯広）
と　き　平成20年9月18日
テーマ　北海道における農業支援組織
講　義　黒澤不二男
（当研究所・常務理事）

○「平成20年度北海道農村生活研究大会」
主　催　北海道農村生活研究会
と　き　平成20年9月27日
テーマ　グリーンツーリズムと農村地域振興
コーディネーター　黒澤不二男
（当研究所・常務理事）

○「第28回日本協同組合学会」
主　催　日本協同組合学会
と　き　平成20年9月28日
テーマ　協同組合間ネットワークの可能性
コメンテーター　太田原高昭
（当研究所・所長）

編集後記

◆まずは三年連続での話題から、九月一日福田総理大臣が突然の辞任表明、自民党の総裁選挙を経て麻生太郎総理大臣が誕生した。総裁選挙での政権構想のタイトルは、祖父吉田茂の言葉通り「日本の底力」。

就任の記者会見では冒頭に、景気への不安、生活への不満、政治への不信という危機にあることを厳しく受け止め、国民本位の政策を進め官僚を使いこなし国益の確立に専念すると述べている。

就任直後の世論調査では、支持率四九・五％と福田内閣発足時を下回っている。また別の調査では「民主党に一度、政権を任せてもよい」が五八％という結果もあることから衆議院選挙は自公政権にとっては厳しい戦いが予想される。

ともあれ原油・穀物の高騰による景気後退への対策、年金・医療・雇用問題等緊急な課題が山積しており新総理の底力に期待したい。

◆米証券大手のリーマン・ブラザース破綻による「リーマン・ショック」に端を発した米国発の金融危機は欧米の銀行・証券・保険会社の倒産・再編も連鎖的に引き起こしている。

ＮＹダウ・日経平均株価の大幅な下落に伴い輸出産業の業績悪化や金融機関の資産運用を直撃するのは避けられないであろう。

日本でも大和生命の破綻、中小企業の資金繰りの悪化等景気後退に拍車がかかっている。

各国政府が協調して、公的資金注入等の政策を早急に実施しこの危機を乗り切ってもらいたいものだ。

◆暗い話題が続く中本年度のノーベル物理学賞に南部陽一郎氏、益川敏英氏、小林誠氏、同化学賞に下村脩氏となんと四名が受賞、いずれも日本の物理、化学での基礎研究の確かさが評価されたもので日本人に元気を与えてくれた。永年に亘る努力の成果に心からの拍手を贈りたい。

（佐々木正幸）

DATA FILE

関連事項／DATA

酪農学園大学
〒069－8501
江別市文京台緑町582番地
☎　011（386）1111（代）
FAX 011（386）1214

（有）ファーム花茶
〒066－0004
千歳市泉郷479番地
☎　0123（29）2888
FAX 0123（29）2888

福島大学
〒960－1296
福島市金谷川1番地
☎　024（548）8006（代）
FAX 024（548）3180

（社）北海道地域農業研究所
〒060－0004
札幌市中央区北4条西7丁目1番地
☎　011（281）2566
FAX 011（281）2707
HP : http://www.chiikinouken.or.jp